

学校教育目標・経営方針

平成28年4月1日（金）

学校は、生徒一人一人が生き生きと活動し、自己はもとより他との関わりの中で、よりよく生きていこうとする「生きる力」を育む学びの場である。

私たち教職員は、学校の置かれている教育的環境（自然、歴史、文化、人々など）を踏まえ、保護者・地域社会の期待に応えるため以下の教育目標を掲げる。この目標の具現化をめざし、一日一日の教育実践（教育活動）を大切にし、信頼され開かれた学校づくりに努めたい。同時に、時代の変化に柔軟に対応しつつ、未来を開きよき校風と伝統を築き上げ、生徒一人一人の豊かな人間性の育成に努めることを学校の使命とするものである。

また、本年度は学校運営協議会を立ち上げ、学校と地域の連携・協働のあり方を探り、『地域とともにある学校』（コミュニティ・スクール）の姿を探っていききたい。

◇ 山梨県教育の基本理念 『未来を拓く「やまなし」人づくり』

- 基本目標
- ① 夢と希望に向かって自ら学び、考え、行動する「たくましい力」を育てる
 - ② 他者を思いやり、社会の絆を深める「しなやかな心」を育む

◇ 南部町教育大綱 第2章 2 南部町の教育の目標より

（学校教育） ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持ち、夢の実現へ向け、たくましく生きる人材の育成

◇ 校 訓

- ◎ 明朗親和 こだわりなく明るく朗らかで、互いに和やかに親しむこと （あかるく）
- ◎ 質実剛健 飾り気がなくまじめで、心身ともに強くたくましいこと （つよく）
- ◎ 自主自律 自発的に考え行動し、自らの規範に従い自己を律すること （のびやかに）

◇ 学校教育目標（めざす生徒像）

- ふるさとを愛し、自他の良さを認め合い、絆を大切にする生徒
- 社会の規範・秩序を守り、健康でたくましく生きる生徒
- 真理を追究し、夢の実現へ向け努力できる生徒

◇ めざす教師像

- 高い理想と強い使命感を持ち、学び続ける教師
- 確かな指導力を持ち、共感的生徒理解に努め、信頼される教師
- 教育的愛情と規範意識を持ち、心身ともに健全な教師
- チーム南部中として、学校運営に積極的に参画する教師

☆ 行動目標

『いるべき時、いるべき場所にいる。』『言うべき時、言うべきことを言う。』『やるべき時、やるべき事をやる。』 当たり前のことを一日一日みんなで積み重ねていこう！

◇ 学校経営の基本的方針

【経営理念】 融和と創造

学校（生徒・教職員）と保護者・地域が融和し、地域とともにある南部中教育を創造！

＝子どもたちの豊かな学びを創造し、地域の絆をつなぐコミュニティ・スクールとして＝

◇ 具体的方針と指導の重点

【実践理念】 気づき・考え・行動 そして感動 → <やる気と感動>

1 生きる力を育む教育課程の編成と実施に努める。 <教務主任、学年主任、特支コーディネーター>

- ①小中の連携強化・連携型中高一貫教育の推進も含め、調和のとれた教育課程の編成とその実践に努める。
- ②体験活動の質的・量的向上を図り、キャリア教育の目標実現を図る。
- ③特別支援教育への理解を深め、特別な支援が必要な生徒への教育を推進する。

2 基礎的・基本的な学習内容の定着と確かな学力向上に努める。 <教務主任、研究主任>

- ①確かな学力の向上をめざし、組織的・計画的な授業研究を推進し、指導力・教育力の向上を図る。
- ②わかる楽しさ・できる喜び・共に学ぶ楽しさを実感させ、主体的に学習に取り組む意欲・態度を育てる。
- ③生徒の実態に即した家庭学習の一層の推進を図り、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。

3 思い遣る心・豊かな心を育む生徒指導の推進に努める。 <生指主事、道徳主任、生徒会主任>

- ①教職員の共通理解と行動のもと、基本的な生活習慣の定着・規範意識の向上を図る。
- ②いじめや不登校などのない学校生活の実現と、心の居場所となる自治的集団づくりを推進する。
- ③共感的生徒理解と保護者との相互理解を深めるために、教育相談活動の更なる充実を図る。
- ④道徳教育の全体計画を作成し、全教育活動を通し豊かな心と道徳的实践力の育成に努める。

4 健康な心と体の育成と健康安全への実践力の育成に努める。 <教頭、保健主事、養護教諭、体育主任>

- ①運動やスポーツを積極的に推進し、進んで運動を実践する意欲・態度及び能力を育て、体力の向上を図る。
- ②健康・安全・食に関する内容を理解し、生涯を通じ健康で安全な生活を送るために必要な実践力を育てる。

5 安心・安全を基盤とした、『家庭や地域とともにある学校』づくりに努める。 <教頭、各学年主任>

- ①学校運営協議会を設立し、コミュニティ・スクールとして家庭や地域との連携・協働のあり方を探り、『地域とともにある学校』づくりを推進する。
- ②学校安全計画及び、防災・防犯等の危機管理マニュアル、いじめ防止対策をしっかりと確認し、改善・充実を進め、安心・安全な学校づくりに努める。
- ③学校評価の有効な活用（PDCAサイクルの活用）と、学校関係者評価の実施と有効な活用に努める。
- ④PTA活動との連携を深め、保護者同士をつなげ、家庭教育充実の推進を図る。

6 教職員としての専門性や指導力を高め、質の高い教師集団を創る。 <研究主任、教頭>

- ①校内研究の充実を図り、共同研究・授業実践を通して、授業改善・指導力の向上を図る。
- ②小中連携、中高一貫の取組も含め、積極的に研修に参加し、互いに切磋琢磨し力を高め合う。
- ③教育公務員としての自覚を深め（服務規律の厳守）、「チーム南部中」として個性を発揮しあい、学校運営に積極的に参画する。
- ④学校の活性化と教職員の指導力向上をめざした教職員評価の運用に努める。

7 生徒の主体性を伸ばす委員会活動に関わるプロジェクトの推進 <生徒会顧問、委員会担当、教務主任>

- ①プロジェクトの意義・目標を常に確認し、全教職員集団で取り組む。
- ②委員会活動日の計画的な設定と、活動計画の作成。
- ③プロジェクト推進へ向け、PDCAサイクルをしっかりと確立する。